

令和6年度

# 安全報告書



山形鉄道株式会社

# 安全報告書

(令和6年度)

## 1. お客様はじめ沿線住民の皆様へ

山形鉄道の会社運営につきまして沿線住民、関係各位のご支援とご協力をいただいておりますことに心より感謝と御礼を申し上げます。

山形鉄道は、赤湯から荒砥までの30.5kmを南陽市、川西町、長井市、白鷹町を通り運行しております。中心となるお客様は沿線にある4つの高校や米沢等の高校へ通うの高校生で、他に一般利用のお客様客や観光のお客様に利用をいただいております。こうしたお客様が毎日、安全にまた、定時に利用いただけますよう努力しております。

安全対策の施設整備としまして、西大塚駅から今泉駅間の老朽化し木マクラギをPCマクラギに交換、2カ所の踏切遮断機の更新、列車制御システムの無線式への更新(複数年継続事業)を行いました。また、車両2両の8年毎に行う全般検査を実施しました。

この他、トラブルが起きた際に、列車の指令員が列車の現在位置を地図上で把握できる列車位置情報システムを導入しましたが、この情報をお客様もスマホやパソコンで見れるようにしましたので、列車が遅れた時など、列車が今どこにいるのかがわかり待ち時間を知ることができるようになりました。

人口減少、少子化とローカル線を取り巻く環境は厳しい状況ですが、鉄道事業者として「安全・安定」輸送を第一に地域公共交通機関としての役割を果たすため、役員、社員一同誠心誠意努力してまいりますので、これからもご利用、ご支援、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について公表するものです。皆様のご意見をいただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

山形鉄道株式会社

代表取締役社長 中井 晃

## 2. 安全に対する基本方針

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は「輸送の安全確保」です。「安全の基本方針」に行動規範の「安全綱領」を加えると共に、スローガンを掲げ、社長以下全社員に周知し取組んでおります。

- (ア) 安全の確保は輸送の生命である。
- (イ) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (ウ) 執務の厳正は安全の要件である。
- (エ) 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いをする。
- (オ) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をする。
- (カ) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (キ) 常に問題意識を持ち、必要な改善に挑戦する。

(2) 安全目標

区 分	項 目	内 容
目 標	列 車 事 故	発生させない。
	人 身 障 害 事 故	発生させない。
	イ ン シ デ ン ト	発生させない。

3. 事故等の発生状況

(1) 【列車・人身事故】 発生は、ありませんでした。

(2) 【踏切障害事故】 発生は、ありませんでした。

なお、過去5年間の踏切事故の発生件数と死傷者数の推移は、次のとおりです。

年 度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事故件数	0	1	0	1	0
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(3) 輸送障害の発生状況

(ア) 輸送障害による運休又は、30分以上の遅れが発生した件数及び本数

種 別	運休内訳				30分以上の遅延内訳			
	自然 災害	車両	設備	その 他	自然災 害	車両	設備	その 他
件 数	8	2	2	0	9	2	2	0
本 数	99	9	22	0	17	3	2	0

(イ) 踏切支障の発生件数

※ 単位 ; 件

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
遮 断 桿 折 損	14	2	2
支障装置いたずら	2	0	0
その他の事象	0	0	0

(4) インシデントに該当する事案は、ありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 「安全とサービスで繋ぐ未来へのレール」を安全スローガンに掲げ、「安全」という意識の充実を図ります。また、交通安全期間、安全総点検期間中は、「安全輸送強化期間」のバッチを付け社員の意識高揚を図りました。

(2) 踏切事故ゼロをめざして

- ・ 春と秋の全国交通安全運動期間中に踏切道で事故防止啓発運動を実施しました。
- ・ 駅構内にポスターを掲示し、踏切事故防止の広報活動を図りました。

(3) 教育訓練関係

- ・ 施設・車両保守に係わる技術の継承を図るため OJT などを活用し若手社員の技術向上に努めました。
- ・ 協会等が主催する講習会に参加させ、技術の習得に努めました。

(4) 安全のための支出

施設の老朽化及び安全対策として、踏切遮断機の更新、列車制御装置の更新及びP Cマクラギ化を実施しました。各事業費は、以下のとおりです。

老朽化・安全対策事業	総 額
① 踏切保安設備（遮断機、踏切版の更新）	9, 8 3 1 万円
② 信号保安設備（列車制御装置の更新）	8 3, 5 5 0 万円
③ 線路設備（P Cマクラギ化）	1 9, 8 9 4 万円

踏切保安設備（遮断機の更新）



線路設備（PCマクラギ化）



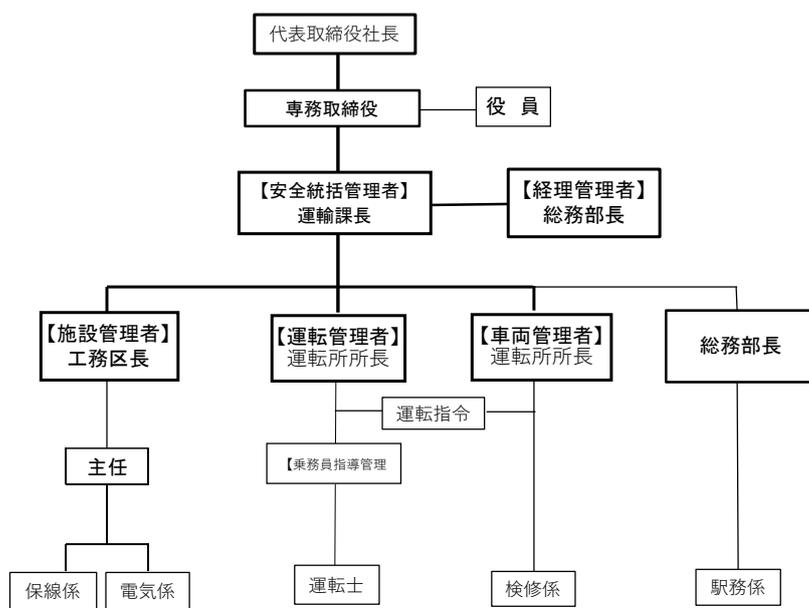
踏切保安設備（踏切版の更新）



## 5. 安全管理体制

### (1) 安全管理組織

弊社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で安全統括管理者、運転管理者、施設管理者、乗務員指導管理者等がそれぞれの責任を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
専務取締役	社長の指揮の下、輸送の安全の確保に関する業務を補佐する。
【安全統括管理者】 運輸課長	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
【運転管理者】 運転所所長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
【乗務員指導管理者】 指導運転士	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
【車両管理者】 運転所所長	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
【施設管理者】 工務区長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
【経理管理者】 総務部長	安全統括管理者の指揮の下、運輸の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する事項を統括する。

## 6. 利用者・住民の皆様へのお願い

長井駅及び宮内駅の旅客通路は歩行者専用です。自転車で通行することはできませんので、ご理解とご協力をお願いします。

踏切道以外の線路横断は大変危険ですので、おやめくださいますようお願いいたします。

## 7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

### 【お客様ご案内窓口】

山形鉄道株式会社

Tel : 0238-88-2002

FAX : 0238-88-5187

E-mail : yr-info@flower-liner.jp